

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス テント		
○保護者評価実施期間	6年 5月 19日 ~ 7年 4月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	6年 5月 19日 ~ 7年 4月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	7年 5月 2日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	従業者間の連携や情報共有、日々の話し合いのなかで、より安心・安全で、有意義なサービスの提供の為の創意工夫を全うすることができている。	チームとして働くことの意義を、従業者同士で理解しあえる環境整備や、業務にあたる際での困りや、今後の改善点を日頃から話し合うことができる職場内での人間関係の構築に努めている。	利用者増加に伴い、スタッフの増員を図る。また、増員によるメリットとして従業者の希望休の確保が見込まれ、仕事とプライベートの充実を図ることができるよう調整していく。
2	事業所の環境面において、広々としたスペースの確保と、それぞれの用途にわけて各部屋を使用できていることで、利用児も理解をもって宿題等の活動に取り組むことができている。	ルールやマナーとして定めたことを、個々の特性に合わせ一つ一つ理解できるようになるよう対応している。そのために日常的に職員間での業務分担の確立や、毎月開催の職員会議等で話し合いの元、全員で計画・実行している。	利用児が安全にすごすことができる環境整備。2階部屋を使用し、小集団での活動を取り入れる。
3	高山市のほぼ中心に位置していることで、それぞれの学校への送迎や、保護者のお迎え等に適している。 また、歩いて行ける範囲内に大きな施設や公園もあり、外出行事としても参加しやすい環境であり、事業所前も見通しの良い広い道幅である。	公園への外出や、近隣の散歩、夏にはプール等、季節ごとの行事や取り組みができるよう計画している。 また、避難訓練等の一貫として、避難先までの誘導や、消防訓練として、実際に消火器に見立てた物を使用し、安全確保として定期的取り組んでいる。	定期訓練時の保護者への周知を徹底する。 年間行事計画の策定・周知。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開設後まだ1年であるため、関係各所や保護者に対する周知がなされていない。	開設間もないことにより、情報伝達が足りていない。	保護者からの意見でもあったように、活動内容を知りたい見たいとの声も参考とし、SNSを活用し情報発信に努めていく。
2	最小人員でのサービスの提供。	少数精鋭であるとの考え方のなか、利用者が増えてきたことで従業者への負担も大きくなってしまっている。	スタッフの増員。
3	父母会や保護者会の開催と、地域交流としての活動が充実できていない。	認識として、優先していかなかった事や、開設間もないこともあり、時間の余裕がなく業務に追わされていた。	スタッフの増員に伴い、業務負担の分散や、人員確保により円滑な活動計画ができるよう体制整備をしていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	放課後等デイサービス テント		公表日 年月日					
		利用児童数 年月日	回収数					
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見 2階の活用をすすめてほしい。	ご意見を踏まえた対応 学校休業日など、利用時間の長い日には提供させていただいています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	5		1		利用者が増えていくと思うので必要な職員を配置してほしい。	安全の確保につながるよう、増員していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2		1		学習スペースがあるので良い。	創業前から、環境整備を考えており、ご好評くださり嬉しいです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24			1		子供から過ごしやすいと聞いている。	日々の掃除や、お互いに物を大切に扱うことを継続して心掛けていきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1		1		得意・不得意を理解してくれ十分すぎるくらいの支援。 子供の気持ちを聞いてくれる。	事業所の良さとして、今後も務めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1		1			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25					しっかり考えて下さりありがとうございます。 細かく計画をたててくれているので、私生活でも活用しやすい。	日々の会話を大切に支援させて頂きます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1		1		詳しい専門的なことはわからないが、信頼している。	信用される事業所であり続けられるよう、偽りのない真っすぐなサービスの提供に努めます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1		1		季節ごとのイベントがあって楽しかったと言っている。	楽しいだけではない、身になる活動ができるよう努めます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	2	2	10		今後試みてほしい。	今後の課題とさせていただきます。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24			1		質問に丁寧に答えてくれる。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24			1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	3	1	10		情報提供をもっと増やしてほしい。 これからですか？	今後の課題とさせていただきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25					親の話も聞いてもらっている。 親身になって相談してくれ、先のことまで一緒に考えてくれる。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	1		1		家では見せない様子が聞ける。	保護者が話しやすい相手となるよう、職員の質の向上に努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		4	3	18		父母会は必要を感じている。	今後の課題とさせていただきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1		1		迅速に対応してくれて感謝しかない。	

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われますか。	25				完璧だと思う。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	6		6	連絡はラインでおこなっている。	SNSでの発信を充実させていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	2	8	私たちの知らないところでとりくんでおられるのでは? 訓練のことはわからない。	事前周知をしたうえで取り組んでいきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1	1	10	避難訓練の様子を知りたい。（消防に協力してもらうなど）	事前周知をしたうえで取り組んでいきます。また、SNS等を活用し報告できるよう努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているだと思いますか。	17	5		3		確立した安全確保計画を周知できるよう計画していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24			1	これまでトラブルがない。	日々、想定しながら業務を遂行しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25				子供が100%楽しみにしている。 自分から行きたいと言う。	今後も、親子ともに喜んでいただけるサービス提供に努めます。また、従業者にとって働きやすい環境で、働き甲斐のある職種として、チーム一丸となって皆様をサポートさせていただきながら、支え合って頑張ることの楽しさを感じていけるよう努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25				楽しんで通っている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				いつもありがとうございます。 満足している。 100%です。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス テント				公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	朝礼や申し送り時で、職員間での役割を確認し、日々のシミュレーションを欠かさず行う	送迎時バタバタしてしまう 利用者が徐々に増えてきたので、スタッフも増員できるとよい	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	歩行に対し不安定なお子さんに対して、段差箇所では、必ず職員が付いている	段差箇所に手すりがあれば、子供たちも一人でトイレ等に行けると思う	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の掃除を徹底しています 集団活動の一貫で、みんなで掃除をしている ことも良い事だと思います		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		部屋数が十分確保できいて働きやすい環境ルールとして定めたことを、子供たちが理解をもつことができている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		日々の業務にあたる前の申し送りを行っている 毎月の職員会議		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		初めての評価により、今後参考にさせて頂きます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日々の職員間でのやりとりの中で、コミュニケーションが図られている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		今後検討していきます	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		毎月の職員会議で、取り組んでいる	非常勤職員にも参加してもらえるよう検討します	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		児発育だけでなく、スタッフ全員で確認をとりあいながら作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		児発育だけでなく、スタッフ全員で確認をとりあいながら作成している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	2		利用時間が短いお子さんに対し、なかなか計画通りにはいかないこともある	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の行動記録をつけている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		日々の利用時間のなかで、利用児の思いを引き出し、悩みや困りの解決にむけた支援に努めています。御家族に対しても同様です		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4				

供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		特に集団活動に力をいれています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		直接的な情報共有や理解に努めます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		機会の確保に努めます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		4		機会の確保に努めます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		機会の確保に努めます
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援ブログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		機会の確保に努めます
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		初期面談時に時間を設け、こまかに部分まで聞き取りしています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		機会の確保に努めます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		4		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		2	2	インスタグラムで発信しています ホームページもより活用していくとよい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		4		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		4		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2	2	機会の確保に努めます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		4		御家族への訓練時の報告を事前にできるよう努めます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		4		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		4		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		4		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		2	2	契約時での説明の他で、周知できる工夫をしていきます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		4		日々の申し送りにて確認している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		4		より研修機会を確保していきます
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		4		